

第 165 回 相模原協同病院 治験審査委員会議事録 概要

開催日時 開催場所	令和 4 年 1 月 26 日 (水) ※COVID-19 の影響により対面形式以外の方法で治験審査委員会を開催し、 審議・採決を行った。
出席委員名	荒木 正雄、木村 純人、阿部 徳子、宮崎 聡、太附 広明、江口 善美、関田 路 恵、小野沢 信昭
議題及び 主な議論の 概要	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>① (治験国内管理人) IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimod の第 2 相無作為化、二重盲検試験 当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>② (治験国内管理人) IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimod の第 3 相非盲検試験 当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>③ バイエル薬品株式会社の依頼による左室駆出率 40%以上の心不全患者 (NYHA 心機能分類 II~IV 度) における罹患率及び死亡率に関して、finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験 当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>④ 入院を要する日本人成人の複雑性腹腔内感染症患者を対象として PF-06947386 (セフタジジム・アビバクタム) に加えてメトロニダゾールを併用したときの有効性及び安全性を評価する、多施設共同、非盲検、単群、第 3 相試験 当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>⑤ 急性心筋梗塞患者を対象としたエンパグリフロジンの第 III 相試験 当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p>
審議結果	① 承認 ② 承認 ③ 承認 ④ 承認 ⑤ 承認
その他 (報告事項)	① 新規治験の打診状況について